

# 第1回 西条市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成28年4月19日 13:30～  
場所：西条市役所本庁 5階 502会議室

## 1 開会

## 2 会長あいさつ

- ・昨年度に山間部の加茂・楠窪の2地区をモデルに検討を行ってきた結果、デマンド型乗タクシーの導入で意見がまとまり、実証運行をこの4月から開始している。
- ・明日の20日から一部路線バスの見直しが行われ、西条地域の市街地における循環的な役割を担うルートや、東予地域の比較的人口が集中している地区を通るルートへの見直しも実施される。
- ・公共交通の取り組みによる利便性の向上を図り、市民等が利用しやすい公共交通体系を構築するため、今年度においても山間部から市街地、臨海部においても更に検討を進める。
- ・今年度の予算や取り組みに関しご意見をいただき、市民生活に寄り添う公共交通体系の構築に向け、皆さまのお力添えをお願いしたい。

## 3 協議事項

### (1)人事異動等に伴う委員の変更等について

#### ○会長

- ・人事異動等に伴う委員の交代等について、事務局から説明をお願いする。

#### ○事務局

<資料1 ページ 説明>

#### ○会長

- ・質問や意見はないか。
- ・事務局説明について、承認いただけるか。

<委員から承認の拍手>

### (2)収支決算及び平成28年度収支予算(案)について

#### ○会長

- ・平成27年度収支決算報告及び事業報告について、事務局から説明をお願いする。

#### ○事務局

<資料2 ページ 平成27年度収支決算報告 説明>

<別冊資料 地域公共交通再編実施プラン策定支援業務報告 説明>

#### ○周桑商工会

<資料3 ページ 監査報告>

#### ○会長

- ・質問や意見はないか。
- ・平成27年度収支決算報告及び監査報告について、承認いただけるか。

<委員から承認の拍手>

- ・平成28年度収支予算(案)について、事務局から説明をお願いする。

#### ○事務局

<資料4 ページ 平成28年度収支予算(案) 説明>

○会長

・質問や意見はないか。

○愛媛運輸支局 谷本委員

・予算案で会議費を見込まれているが、今年度に何回見込まれているのか。

○事務局

・最大で5回を予定している。適宜必要に応じて開催することとしたい。

○西条市医師会

・27年度は420万、今年度は1,250万という予算、この差額の800万ほどについては新しいデマンド型乗合タクシー実証運行費になっているという解釈で良いか。

○事務局

・資料5ページ以降の計画書(案)で後ほど説明させていただくが、大半が西条市地域公共交通網構築事業計画書に基づいた業務内容の予算が多くなっている。実際、加茂・楠窪で運行しているデマンドについての予算は約130万円程度で、その差額分が今回の構築事業にかかる費用となっている。

○西条市医師会

・最初にお聞きした時、1年間の補助金が8千くらいと聞いていたが、それに上乗せする形になるのか。

○事務局

・8千くらいというのはバス路線に対して市が支出する補助金のことだと思うが、今回の事業においてはそれとは別の予算である。8千くらいの上乗せかと言われれば公共交通全体では上乗せになる。ただし、事業内容的には個別の事業になっており、一方はバス路線への補助、一方はこれからの交通を考える事業費という形の予算となっている。

○会長

・今までのバス路線の補助について一定の見直しをして、どれぐらいの削減があったのか。

○事務局

・バス路線については、運行の事業期間がその年の10月1日から翌年の9月末までとなっており、稲井委員が言われた補助金は1年間の赤字を補てんするものになっている。一定の条件を満たせば国の補助を受けられる制度があるので、今年度は協議会としてフィーダー補助を申請している。約860万円の内示をいただいているので、これにより28年度の事業費については市の持ち出し分が少なくなると考えている。

○会長

・平成28年度収支予算(案)について、承認いただけるか。

<委員から承認の拍手>

### (3)西条市地域公共交通網構築事業計画(案)について

○会長

・西条市地域公共交通網構築事業計画(案)について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

<資料5～6ページ 西条市地域公共交通網構築事業計画書(案) 説明>

○会長

・質問や意見はないか。

○西条市社会福祉協議会

・私たちの方に、20日からバス停の場所が変わって今までより不便になる、という意見があった。意見としては聞くが私たちにはどうしようもないと答えたが、その後に評価検証

をやってもらえるということか。

○事務局

- ・これで確定した路線というわけではなく、評価は継続して行っていきたい。それに伴い、利用者の確保につながるような路線やダイヤの見直しが必要であれば、バス事業者と協議し、改善につなげていきたいと考えている。

○愛媛大学 倉内准教授

- ・乗合タクシーの効果の検証をするということは、理想的な状況があらうかと思う。運行費の全額を利用料金で賄うのは難しいと思うが、理想の状況をどこに置いておられるのか。

○事務局

- ・デマンドタクシーは加茂・楠窪両地区とも1乗車500円という金額設定をしているが、もちろんそれによって運行費を賄うのは不可能である。費用対効果ということもあるが、乗合という点から少なくとも2名以上で利用してもらいたいと地元にはお願いしている。また、乗り合ってお出かけすることで楽しみも増え、健康等にも結び付けてくれることも期待している。

○愛媛大学 倉内准教授

- ・検証という所で住民説明会もあるようなので、乗って良かったという方の声を前面に出して説明していくということが重要だと思う。
- ・モビリティ・マネジメントの検討の説明がやや抽象的だったが、ターゲットは具体的にどうお考えか。

○事務局

- ・本市にはいきいきバス制度というのがあり、それを利用できる75歳以上の高齢者を特に対象として考えている。

○会長

- ・いきいきバス制度を7月から改善するが、どういった内容か。

○事務局

- ・現行のいきいきバス制度では、西条市に住所がある75歳以上の高齢者は、市内を始点・終点とするバス路線を対象に1乗車100円での利用が可能となっている。
- ・7月からの見直しによって、市内を始点・終点としなくても市内を走る全路線が制度の対象となる。今治から西条を経由して新居浜へ行くというような路線にもいきいきバス制度が利用できるようになる。100円の料金については乗る場所によって若干の公平性に欠けている部分があったため、高齢者の方に1,000円で3,000円分の金券を購入いただき、実際に自分が乗った距離に応じた料金をその金券で払っていただくこととなる。新居浜～松山間の特急バスも利用できるようになる。

○会長

- ・要するに75歳以上の高齢者の市内でのバスの移動に市が2/3を補助しようという制度である。

○松山大学 甲斐准教授

- ・いきいきバス制度を拝聴して良くなったんじゃないかと思いますが、金券を買う人の行動がわかればいいと思う。例えば、金券を買う際に申し込みの紙を書くとか情報がわかるような方法をとるのか。

○会長

- ・手続きについても検討して便利になる。説明をお願いします。

○事務局

- ・現行の制度では利用者が現金100円と回数券を運賃箱に入れてもらうが、回数券は本庁

と総合支所でしか受け取れない。今回から利用者証を提示すれば市内の公民館でも購入が可能になる。利用者証についても、今までは高齢者自身が申請して発行してもらう必要があったが、今回からは高齢介護課から対象者全員に配布するようにしている。

○松山大学 甲斐准教授

- ・それによって高齢者の行動パターンがわかるような仕組みづくりに繋げていけるようにしてみてもどうか。

○事務局

- ・利用者の実態を把握することは公共交通を検討するうえで必要なことと考えている。今後も情報収集を行いつつ改善すべき所は改善していきたい。

○東予地方局地域政策課

- ・策定支援業務9ページや11ページにある概要等を高齢者に伝えるということで理解されにくい部分もあったと思われるが、そういった苦労話等があれば参考までにお聞かせいただきたい。

○事務局

- ・意見を集約して運行の形を決めていく際にも、「バスを利用したい」「車を利用するから必要ない」等各地域によって様々な意見があったため、地元の協力なしには話がまとまらなかった。地元の人に集まっていたき、よりそいタクシーの説明をした際にも、高齢者の方から利用方法が解りにくいという意見をいただいた。各テーブルを回って説明し、最後は理解してもらえた。加茂地区のよりそいタクシーは運行初日から7名の方に利用してもらえた。いろいろな苦労はあったが運行にこぎつけられて良かったという印象である。

○東予地方局建設企画課

- ・西条市地域公共交通網構築事業計画書の内容で今年度に乗合タクシーを2地区程度運行するとあるが、導入する際に優先順位等はどのようにつけていくことになるのか、現時点でわかっているならば教えていただきたい。

○事務局

- ・まず、観光の面からも西之川沿線は重要と捉えている。路線バスが運行しているが、地元の人から利用が難しい人もいるという声を聞いている。石鎚山等への観光客の交通を確保する部分と地元住民の移動手段を確保する部分があり重要である。
- ・次に、丹原の桜樹にも路線バスが運行しているが、バスが走っていない所の住民からは交通を考えて欲しいという話がある。
- ・小松の大郷については国道11号から南の山手側は全く公共交通がない状態になっている。そういった所でも地元と協議を行い、実情に見合う交通体系を検討したい。
- ・順番をつけるなら以上の順になるかと思う。

○松山大学 甲斐准教授

- ・行き先については病院というのが念頭ににあると思うので、病院と連携してよりそいタクシー等の公共交通を使う方は優先的に診察してもらえとか、担当の先生がいる日いない日等の実態を把握したり、協議したりしていくと利便性が上がるのかなと感じた。
- ・最初は乗合も利用してくれると思うが、先のことを考えれば乗合を使うことのインセンティブ的なものを考えていくのも手かなと考える。スーパー等に協力してもらって割引をもらうなど、交通以外の皆様との連携もあっていけばより使い勝手が良くなると思う。

○事務局

- ・インセンティブまで考えは追いついていなかったが、そういった部分も含めて28年度も取り組みを進めていきたいと思う。

○会長

- ・他に質問や意見はないか。
- ・西条市地域公共交通網構築事業計画書（案）について、承認いただけるか。  
　　＜委員から承認の拍手＞

**(6)その他**

○会長

- ・その他、協議事項の他に質問や意見はないか。
- ・無ければ以上で予定していた協議事項はすべて終了したので進行を再び事務局へ戻す。

○事務局長

- ・承認いただいた内容に従って業務を進めていく。
- ・各委員の皆様には、本協議会規約第5条に基づき2年任期の委嘱状を、この後お配りさせていただきます。
- ・以上をもって、本日の会議は散会する。